

<自主的努力項目記入書式>

提携先	(株) オーエスケー	記入日	2009年 11月 2日
登録消費材名	乾しいたけ・われ葉しいたけ・どんこ100g・徳用小葉乾しいたけ		

I. これまでに努力してきたことや、生産条件の限界性など

昨年度（2008年度）の大分県産椎茸は、春子椎茸の生産に概ね良好な気象条件に恵まれ、前年度に比べ大幅に生産量が増えた。その結果、全体的に豊作に近い年であった。

一方、椎茸の相場は9月末まで高値で推移、10月以降は世界的な経済不況等の影響もあつてか、やや値下がりがしたが、全体的な相場平均は、前年度を上回る結果となった。

当社の母体組織・大分県椎茸農業協同組合も生産者の利益向上を図るとともに、高品質生産グループへの助成、組合への新規加入の促進、新組合員への支援等に積極的に取り組んでいる。

但し、依然として椎茸生産者の高齢化・その年ごとの気象条件にも影響を受ける為、生産量の大幅な伸びは、期待出来ないという課題は残っている。

II. 前年度に努力したことへの評価(成果や課題)

当社の母体組織・大分県椎茸農業協同組合は、大分県とも協力し、原木オーナー制度による新規加入の促進、原木資金や鳥獣被害対策の拡充、新組合員の重点支援などに、積極的に取り組み、新規組合員の増加に成果を挙げた。

また一方では、椎茸生産の栽培講習会の開催、意見交換会等を各地区で積極的に行い、良品作りの推進、組合員意識の高揚を呼びかけた。

但し依然として、上記でも述べているように、生産者の高齢化問題は残っているため、生産量の増加については、課題も残っている。

III. 上記の成果や課題につながる今年度の努力目標、または今年度の新たな努力目標

大分県椎茸農業協同組合の販売会社として、日本一の生産量を誇る大分県産の乾しいたけを、引き続き生活クラブに、安定供給していく事に全力を注ぎたいと考えます。